

聖書

創世記17章1～14節

17:1 アブラムが九十九歳になったとき【主】はアブラムに現れ、こう仰せられた。「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前を歩み、全き者であれ。17:2 わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に立てる。わたしは、あなたをおびただしくふやそう。」

17:3 アブラムは、ひれ伏した。神は彼に告げて仰せられた。17:4 「わたしは、この、わたしの契約をあなたと結ぶ。あなたは多くの国民の父となる。」

17:5 あなたの名は、もう、アブラムと呼んではならない。あなたの名はアブラハムとなる。わたしが、あなたを多くの国民の父とするからである。
17:6 わたしは、あなたの子孫をおびただしくふやし、あなたを幾つかの国民とする。あなたから、王たちが出て来よう。

17:7 わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。

17:8 わたしは、あなたが滞在している地、すなわちカナンの全土を、あなたとあなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。わたしは、彼らの神となる。」 17:9 ついで、神はアブラハムに仰せられた。「あなたは、あなたの後のあなたの子孫とともに、代々にわたり、わたしの契約を守らなければならない。 17:10 次のことが、わたしとあなたがたと、またあなたの後のあなたの子孫との間で、あなたがたが守るべきわたしの契約である。あなたがたの中のすべての男子は割礼を受けなさい。

17:11 あなたがたは、あなたがたの包皮の肉を切り捨てなさい。それが、わたしとあなたがたの間の契約のしるしである。17:12 あなたがたの中の男子はみな、代々にわたり、生まれて八日目に、割礼を受けなければならない。家で生まれたしもべも、外国人から金で買い取られたあなたがたの子孫ではない者も。

17:13 あなたの家で生まれたしもべも、あなたが金で買い取った者も、必ず割礼を受けなければならない。わたしの契約は、永遠の契約として、あなたがたの肉の上にするされなければならない。17:14 包皮の肉を切り捨てられていない無割礼の男、そのような者は、その民から断ち切られなければならない。わたしの契約を破ったのである。」

8月8日
永遠の愛の契約
創世記17章1～14節

先週はアブラハムがカナンの地に来て
10年が経過したときの事件を学びました。

10年経過したにも関わらず
子供が与えられない。

当時、その地方で受け入れられていた子孫を
残す方法、女奴隷によって子孫を残す方法を
サラは思い立ち、それをアブラハムに提案し、ア
ブラハムは祈りや祭壇を築くことなく、熟慮するこ
となく女奴隷ハガルのところに入って行きました。

ハガルは身ごもると高慢になり
女主人サラを敬わず軽く見るようになった。

サラは、悔しさでハガルをいじめ、
アブラハムはサラとハガルの女の争いに
なすすべがなく、
いじめられたハガルはエジプトに帰ろうとし
砂漠で餓死寸前になります。

主の介入があります。
主はハガルに声をかけ
サラの前でへりくだって生きるように
命じます。

みんながしていることに従って
女奴隷によって子を産そうとした。
子供がたくさん生まれると幸せという
みんなが持っている自然な価値観に
流れてしまった。

お金のある人、成績の良い人、能力の優れて
いる人は優越感を持ち、それがないと
劣等感を持つという霊的な世界観ではなく、
世俗的な自然の価値観に流されてしまった。

イシュマエルが生まれ、
この事件を反省して13年の歳月が流れた。
86歳のアブラハムは99歳になり、
76歳だったサラは89歳になった。
ハガルの子、イシュマエルは13歳の青年に育っ
ていった。

ハガルは謙遜に、サラは怒りを納め、
アブラハムは一家に平和があるようにと
主の介入に従い祈りの13年を過ごしてしま
した。

17章はあわれみの神様、
愛の神様の姿が溢れています。

17:1 アブラムが九十九歳になったとき【主】
はアブラムに現れ、こう仰せられた。「わたし
は全能の神である。あなたはわたしの前を
歩み、全き者であれ。

アブラハム86歳から99歳まで
主を恐れて、忠実に歩んできましたが
約束の子供が生まれる気配はありません。
やはりイシュマエルが後継者になるのかな
と思っていたアブラハムに主が現れて語りかけら
れました。

わたしは全能の神
わたしの前に歩み全き者であれ
わたしとあなたのために契約を立てる
あなたは多くの国民の父となる。

アブラハム99歳、サラ89歳、
出産は絶望と思われる
どん底の時、最悪の時に
わたしは全能の神である

とお語りになりました。神様はご自身を現わして
くださいました。86歳から99歳までの13年
間、忠実に敬虔に主に従っていたアブラハムに
神様ご自身が現れ、お語りになりました。

わたしは全能の神、
教理的に神は全能の神、
使徒信条を告白する時も
我は天地の造り主、
全能の父なる神を信ず、と口で告白します。

同じ告白を自分が全く無力な時、
自分に自信のかけらも持てないときにも
私の信じている神様は全能の神であると
告白しましょうというチャレンジであります。

星空を見せ、これらを創造された創造の神様は
今も生きておられる全能の神様であります。

不可能を可能にし、

無からでも有を生み出す全能の神。

90歳のサラの胎を開いてイサクを生み出す
全能の神であると神様は自己紹介をしておら
れます。

神様は高齢の人でも、病弱な者でも、
幼い子供でも用いてくださいます。

第二に語られたことは
わたしの前に歩み、全き者であれ。

全き者とは行いにおいて
完全ということではありません。

心が動揺しないで迷わないということでも
ありません。

神様は正しい、愛のお方、最善をなされる全能
のお方という信仰告白において
全き者、欠けのないもの、素直に信じる者であ
れ、との命令であります。

アブラハムも失敗を重ねています。

でもその都度悔い改めて主に立ち帰っています。

ダビデも罪を犯しましたが、悔い改めて歩んでいます。

ペテロも主を裏切りましたが聖霊の導きを受けて悔い改めています。

主の導きを受け入れる点において
全き者となることを主は願っておられます。

主を素直に信じる、
幼子のように信じ、
主に従うという点で
全きものとなれといわれています。

わたしの契約を立てる。
わたしはあなたを大いに増やす。

イシュマエルではなく、
アブラハムとサラの間から子供が生まれるとはっ
きりと約束されました。

16節「彼女によって必ずあなたに男の子を与える。」と具体的に約束され、信じられないアブラハムに19節「サラがあなたに男の子を生む、イサクと名づけなさい」

21節では

「サラが来年の今ごろあなたに生む
イサク」と生まれる時も、子供につけられる名前
も、生まれる時も、神様は一方的に愛と神様の
主権をもって語っておられます。

従順な者、信じる者に注がれる神様の
一方的な愛、恵みです。

神様はアブラムをアブラハムに
サライをサラに名を変えています。

アブラムは大いなる父、
アブラハムは大いなる多くの者の父。

サライは私の王女

サラは王女、多くの者の王女

と神様は名前も変えて、着々とイサク誕生の準備をしています。

アブラハムはただ、信じるだけ、
受け入れるだけであります。
私たちも自分の弱さ、罪深さを持ち、
自分の問題を知っています。
私たちに求められることは、
神様のことば、約束を「アーメン」と信じ、
受け入れるだけであります。

7節で神様はアブラハムと
契約を結ぼうとされています。

これらのことを信じますか。

神様の約束、それを信じますというアブラハムの
応答、それを割礼という形で
信仰の証しの契約を結ぼうとされています。

信じますという口での告白を
さらに体に印をつける割礼という方法で
神様はアブラハムと契約、約束を結ぼうとしてい
ます。

アブラハムは信じますという心の中の
信仰の告白を
割礼で表しました。

割礼は男性の生殖器官の先端の
包皮の皮を切り裂く手術であります。

サラが来年の今ごろあなたにイサクを生む、とい
う具体的な約束を聞いて
99歳のアブラハムはそれを
「アーメン」と信じて
その日のうちに99歳のアブラハムを先頭に一族
のものすべての男子は割礼を受けました。

神様の約束を信じます、という信仰告白を
忘れないように、心に刻み込むように
割礼という形であらわして行きました。

アブラハムに対する神様の一方的な愛の、
恵の御業であります。

信じられない私たちを信じられるように、
疑いやすい私たちが動揺しないように、

髪の毛や爪を切るのではなく

生殖器官の先端の包皮を切り裂くという

痛みの伴う行為でこの信仰が心に刻まれるよう
に主はしてくださいました。

**新約聖書の時代に生きる私たちは
割礼よりもさらに素晴らしい契約のしるしが与え
られています。**

私たちの心に焼き印が押されています。

**神様の約束を信じている私たちは
聖霊の証印を受けています。**

エペソ1章13節

この方においてあなたがたもまた、真理のことは、あなたがたの救いの福音を聞き、またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。

ガラテヤ6章17節

これからは、だれも私を煩わさないようにしてください。私は、この身に、イエスの焼き印を帯びているのですから。

信じている私たちの心に
聖霊が住んでくださって
迷ったときにこれが道だと
語ってくださいます。

罪を犯したときには聖霊は悲しみうめきをもって
私たちを立ち返るように導いていて下さいます。

ローマ8:26

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。

8:27 人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

アブラハムが割礼を受けたように
私たちも心を開いてイエス様を心にお迎えする
なら、

心に住んでくださる聖霊は私たちを導き、
迷う時にも、とりなしをしてくださり、
義の道に導いてくださいます。

祈り

父なる神様、弱く、迷いやすい私たちをいつも
顧みて下さり、導いてくださることを感謝します。
創世記17章では全能の神様としてお姿を示し
て下さいました。私たちはあなた様に「全き信
仰」をもって従わせて下さい。全き信仰で歩むた
めに、アブラハムが割礼を受けたように、私たち
は心をおおっている自分を隠そうとしている皮を
切り裂いて、イエス様を心にお迎えして、聖霊
様のとりなしを受けつつ、主の道をこの週も歩ま
せてください。アーメン。